

カサゴを放流しました！

平成26年10月21日にカサゴの稚魚2万尾(全長7.0～8.3cm、平均7.58cm)を放流しました。

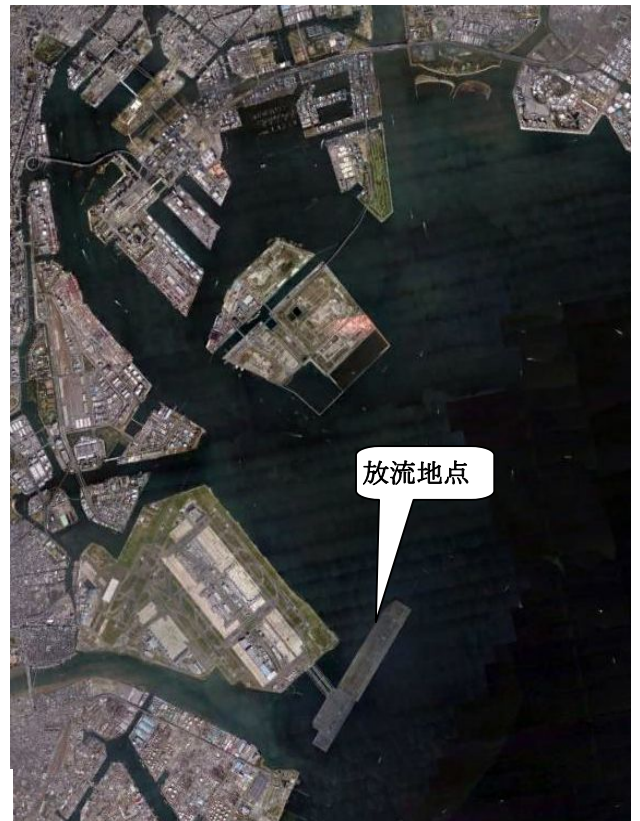
前年度の放流魚(全長平均5.81cm)に比べるとやや大きく、元気に泳いでいきました。

放流地点は前年度と同じく、羽田空港D滑走路の先端部です。ここはスリット護岸なので大型魚からカサゴの稚魚が避難することができ、生息には好適と思われます。

カサゴは白身で美味しく釣りの対象としてなじみ深い魚で、頭部が大きく笠をかぶっているように見えることからその名が付いたと言われています。なお、放流には今回も芝漁業協同組合並びに都内湾釣漁協議会(丸 裕二会長)のご協力をいただきました。



放流魚



放流地点



スリット護岸

